



audio-technica

AT-CR7010

赤外線コードレスレシーバー

取扱説明書

Japanese

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

 警告	● 付属品のACアダプター以外使用しない 電流量などの違いにより、火災・感電の原因になります。また、故障、不具合の原因になります。 ● 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。 ● 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社窓口にて修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。 ● 分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。 ● 水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ● 布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。 ● 同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。
---	---

 注意	● 不安定な場所に設置しない 転倒などによりけがや故障の原因になります。 ● 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。 ● 火気に近づけない 変形、故障の原因になります。 ● ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。 ● 密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない 変形、故障の原因になります。
---	---

ACアダプターについて

⚠ 警告

- **AC100V 以外の電源には使用しない(日本国内専用)**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **本製品以外には使用しない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **異常に気付いたら使用しない**
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあつたら、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社窓口に連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
- **コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする**
断線、故障の原因になります。
- **コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない**
断線、故障の原因になります。
- **分解や改造はしない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
感電によるけがの恐れがあります。
- **布などで覆わない**
過熱による火災など事故の原因になります。
- **プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る**
事故や火災の原因になります。
- **ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない**
変形、故障の原因になります。

⚠ 注意

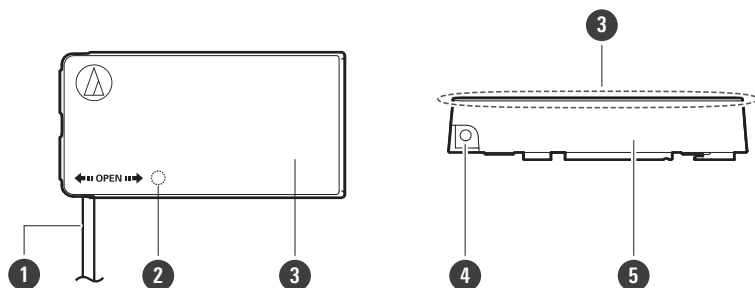
- **長時間使用しないときは、コンセントから抜く**
火災の原因になることがあります。安全のため、必ずコンセントから抜いてください。省エネルギーにご配慮ください。
- **足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない**
故障や事故の原因になります。
- **通電中のACアダプターに長時間触れない**
低温やけどの原因になることがあります。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 天井に受光ユニットを設置する際は、窓または壁から約2～3m離して設置してください。
- 壁に受光ユニットを設置する際は、直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入らないように設置してください。
- マイクロホンは、受光ユニットから1.5m以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- 下記の近くには設置しないでください。システムの動作不良やノイズ発生の原因となる場合があります。その場合は、正常に動作する場所まで離して設置してください。
 - 照明装置
 - プロジェクター（液晶やDLPなど）、OHP、白熱電球など
 - 水銀灯、ハロゲン灯、インバータ式蛍光灯、ブラックライト
 - プラズマディスプレイ
 - リモコン、赤外線LANなどの赤外線機器
 - 調光器
 - デジタルパワーアンプなどのデジタル機器本体およびその配線（スピーカー出力など）
- ケーブルの配線上に大型電気機器があると、ノイズが発生する可能性があります。その場合は、ノイズが発生しなくなるまで離して配線してください。
- ケーブル配線時に、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズが発生する場合があります。

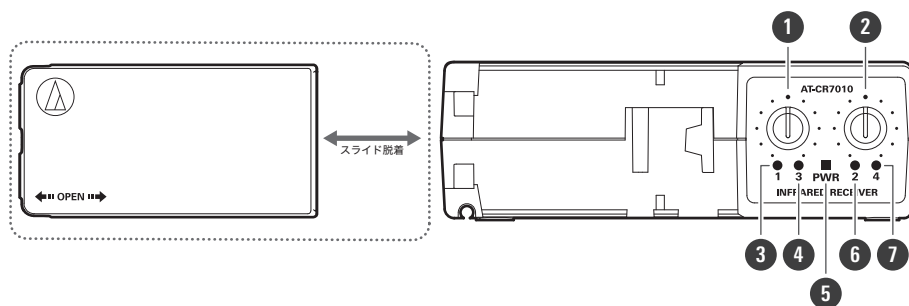
各部の名称と機能

受光ユニット



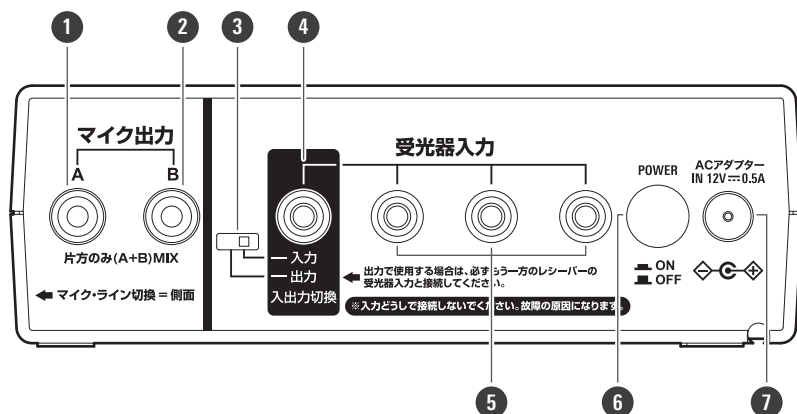
- ① ケーブル(0.3m)
- ② 電源インジケータ
- ③ 受光部
- ④ ケース
- ⑤ カバー

赤外線コードレスレシーバー(前面)



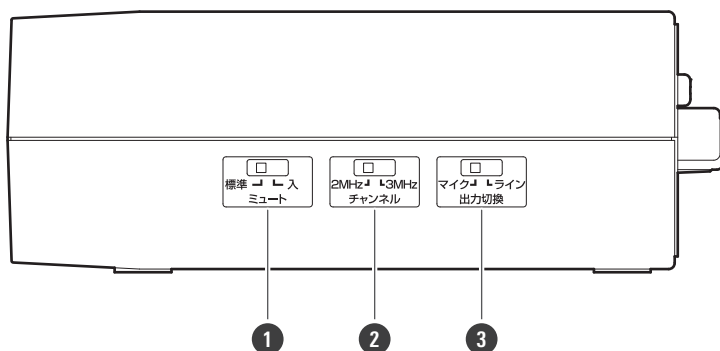
- ① 1、3チャンネルボリューム
- ② 2、4チャンネルボリューム
- ③ 1チャンネルマイクインジケータ(黄)
- ④ 3チャンネルマイクインジケータ(赤)
- ⑤ 電源インジケータ
- ⑥ 2チャンネルマイクインジケータ(緑)
- ⑦ 4チャンネルマイクインジケータ(青)

赤外線コードレスレシーバー(背面)



- ① マイク出力ジャック A (RCA ピン)
- ② マイク出力ジャック B (RCA ピン)
- ③ 受光器入出力切換スイッチ
- ④ 受光器入力／出力共通ジャック
- ⑤ 受光器入力ジャック
- ⑥ 電源ボタン
- ⑦ 外部電源入力ジャック (DC IN 12V)

赤外線コードレスレシーバー（側面）



- ① ノイズミュート切換スイッチ
- ② チャンネル切換スイッチ
- ③ 出力切換スイッチ

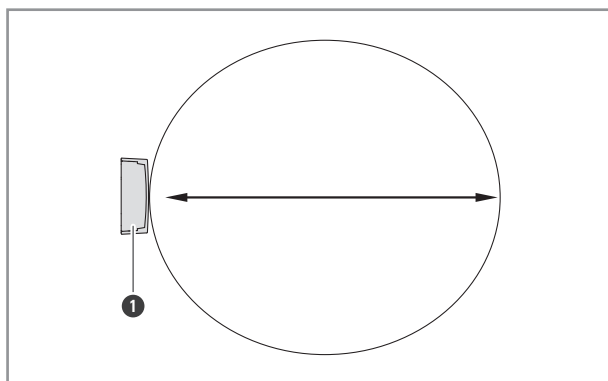
付属品

- 受光ユニット(AT-SRX)
- ACアダプター
- 接続ケーブル(RCAピンプラグ(赤白)-RCAピンプラグ(赤白)、1.5m)

受信範囲

- 受信範囲は、製品の組み合わせや設定、室内の状況などにより変わります。
- 本項目は以下の製品を組み合わせた例です。
レシーバー：AT-CR7010
受光ユニット：AT-SRX
マイクロホン：当社指定赤外線コードレスマイクロホン

正面方向

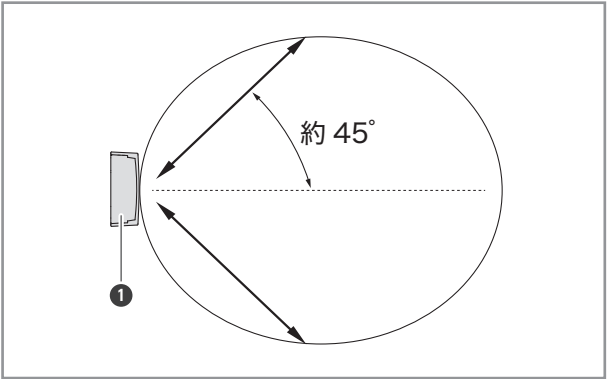


① 受光ユニット

出力切換スイッチ	ノイズミュート切換スイッチ	受信範囲
HI	標準	約16m
HI	入	約9m
LO	標準	約12m
LO	入	約7m
ECO	標準	約10m
ECO	入	約5m

- マイクロホンの出力切換スイッチ (HI / LO / ECO) と本製品のノイズミュート切換スイッチ (標準 / 入) を切り換えると受信範囲が変わります。
- 受光ユニットは正面に最大感度を持っているため、天井よりも壁に設置するほうがより効果的です。
- 直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、大幅に受信範囲が小さくなります。

斜め方向(約45°の場合)



① 受光ユニット

出力切換スイッチ	ノイズミュート切換スイッチ	受信範囲
HI	標準	約11m
HI	入	約6m
LO	標準	約8m
LO	入	約5m
ECO	標準	約7m
ECO	入	約3m

- マイクロホンの出力切換スイッチ(HI／LO／ECO)と本製品のノイズミュート切換スイッチ(標準／入)を切り換えると受信範囲が変わります。
- 受光ユニットは正面に最大感度を持っているため、天井よりも壁に設置するほうがより効果的です。
- 直射日光、スポットライト、白熱電灯などの光が受光ユニットに入ると、大幅に受信範囲が小さくなります。

受信周波数

本製品は次のチャンネル(周波数)に対応しています。次のチャンネル以外では受信しない可能性があります。

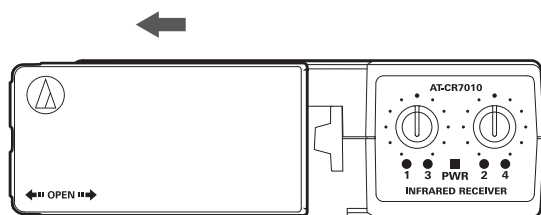
チャンネル	周波数
1ch	2.06MHz
2ch	2.56MHz
3ch	3.20MHz
4ch	3.70MHz

受光ユニットの脱着のしかた

- 受光ユニットを脱着する際は、底面の溝からケーブルを抜き、挟まないように行ってください。断線の原因になることがあります。

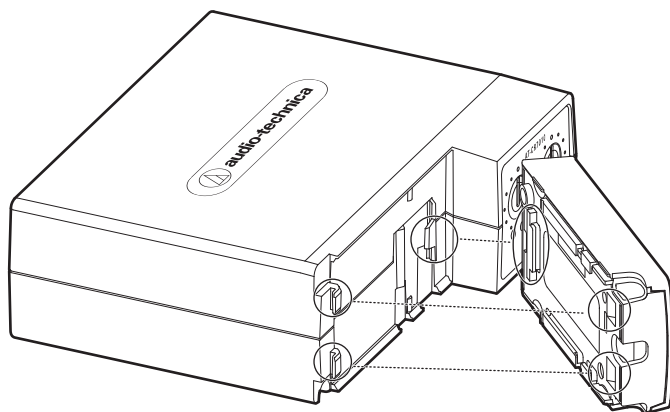
外しかた

- 1 受光ユニットを左にスライドさせます。



装着のしかた

- 1 レシーバーのツメと、受光ユニットの溝を合わせます。(3カ所)



- 2 受光ユニットを、「カチッ」と音がするまで右にスライドさせます。

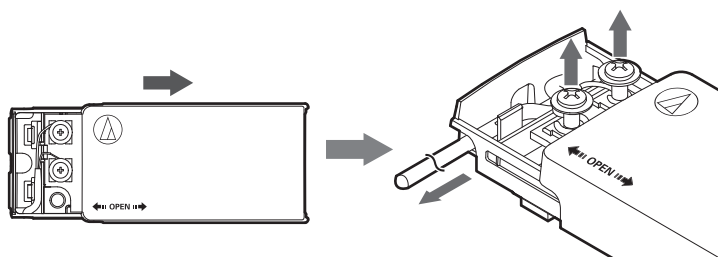
受光ユニットケーブルの変更のしかた

受光ユニットのケーブルを変更する場合は、下記の手順に従ってください。

- 必ずケーブルのプラグをシーバーから抜いた状態で行ってください。ケーブルを抜かないまま作業を行うとショートし、火災や故障の原因になります。
- 必ず本製品専用のケーブルを使用してください。別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因となります。

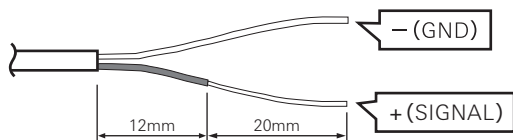
1 カバーを右にスライドさせ、ケーブルを固定しているねじを2本とも緩め、ケーブルを外します。

- ねじが抜けないように注意してください。



2 ケーブル長を変更する場合はケーブルを適切な長さに切断し、先端の被覆を次の図の長さを目安に剥がします。

- 受光ユニットを複数台設置する場合は、ケーブル長をそろえると受光感度が良くなります。
- ケーブルを切断した場合、元々の先端部分は廃棄してください。



3 ケーブルを図の位置に押し込み、固定してください。

- ピンセットの背などでしっかり押さえてください。



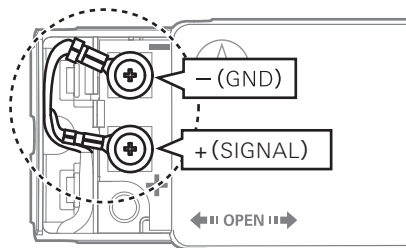
受光ユニットケーブルの変更のしかた

4 ケーブルを極性通りに配線し、ねじを2本とも締めてください。

- 「+ (SIGNAL)」側を先に取り付けてから「- (GND)」側を取り付けてください。
- 極性をよく確認してください。
「- (GND)」側：シールド(太い導線)
「+ (SIGNAL)」側：芯線(導体が細く黄色い被覆)
- ケーブル同士が接触していたり、端子以外の部分に接触するとショートし、故障の原因になります。

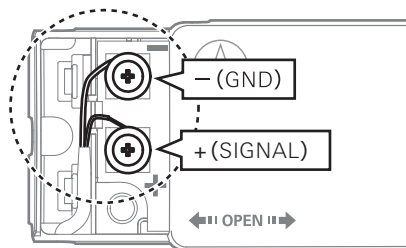
新しいケーブルを切断せずに取り付ける場合

先端のY字端子をねじに取り付けます。



ケーブルを切断した場合

導線をねじに取り付けます。



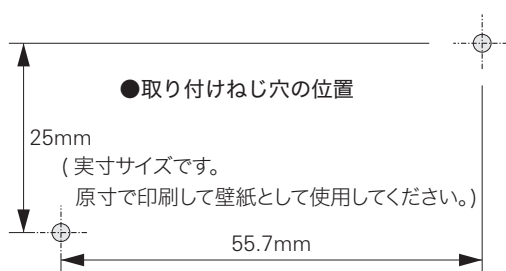
5 カバーをスライドさせしっかりはめ、隙間がないかを確認します。

受光ユニットの設置のしかた

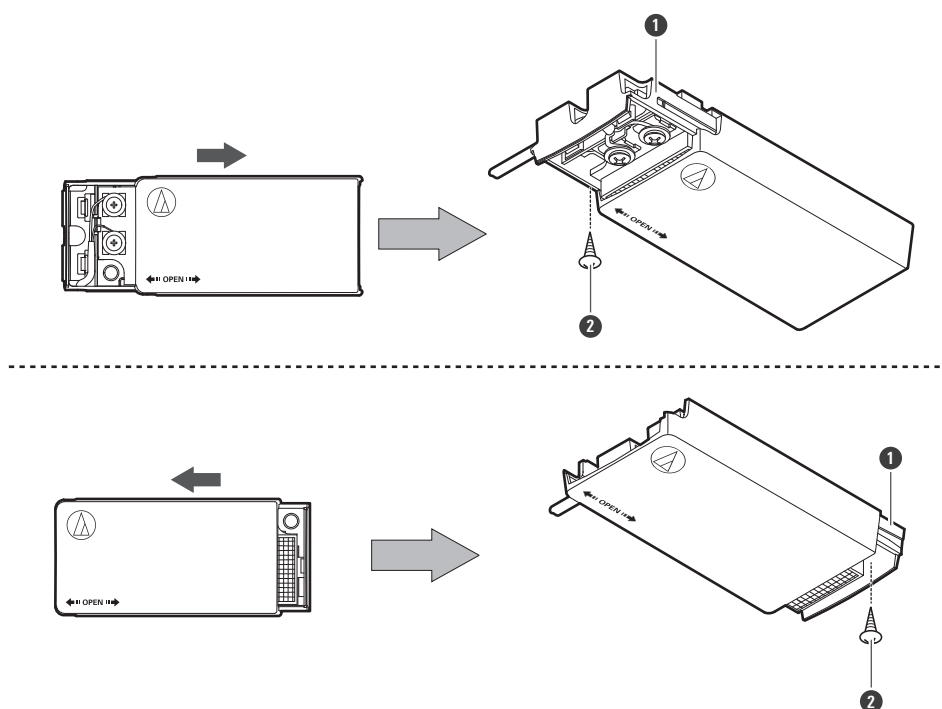
天井や壁に穴を開けて設置する場合

- プラスドライバーと別売の受光ユニットに付属している木ねじを用意します。
- 受光ユニットは、障害物がなく見通しの良い場所で、マイクロホンから直視可能な場所に設置します。

1 受光ユニットの取り付け位置を決め、ねじ穴の箇所を鉛筆などで目印を付けます。



2 受光ユニットのカバーを左右にスライドさせ、木ねじをケースを通して天井や壁などに取り付けます。



① ケース

② 木ねじ

3 カバーをスライドさせしっかりはめ、隙間がないかを確認し、受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光器入力に接続します。

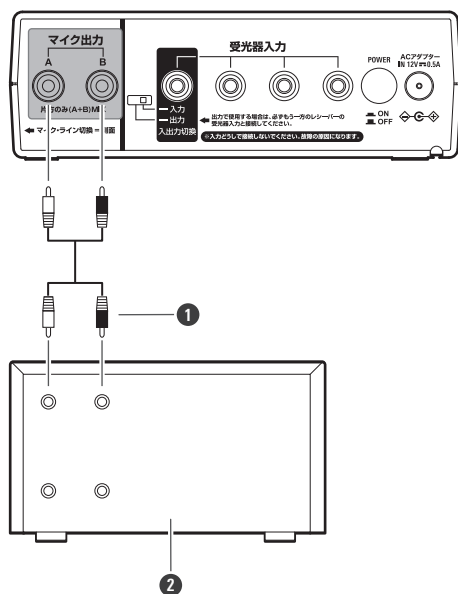


- 本製品のケーブルを壁などに固定する場合、強い力で固定すると断線する恐れがあります。
- 取り付け場所の材質、強度、厚さなどを充分に確認してください。強度不足、取り付け不備による落下などの事故や損害が発生した場合、当社は一切責任を負いません。

接続のしかた

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- 1 付属のACアダプターを本製品の外部電源入力ジャック(DC IN 12V)と接続し、AC100Vコンセントと接続します。
- 2 付属または別売の接続ケーブルを、本製品のマイク出力ジャックとカラオケ機器などの接続機器の入力端子に接続します。
 - 接続機器のマイク入力/ライン入力(RCAピンジャック)に接続する場合、付属の接続ケーブル(RCAピンプラグ(赤白) – RCAピンプラグ(赤白)、1.5m)を使用してください。一方を本製品のマイク出力ジャックに、もう一方を接続機器のマイク入力/ライン入力ジャックに接続してください。
 - 接続機器のマイク入力/ライン入力(φ6.3mmモノラル標準ジャック)に接続する場合、別売の接続ケーブル(RCAピンプラグ – φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型))を使用してください。RCAピンプラグを本製品のマイク出力ジャックに接続し、φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型)を接続機器のマイク入力/ライン入力ジャックに接続してください。
 - マイク出力ジャックの一方だけにケーブルを接続すると、マイク出力Aとマイク出力Bのミックス出力となります。ミックス出力にしない場合は、両方のマイク出力ジャックにケーブルを接続してください。



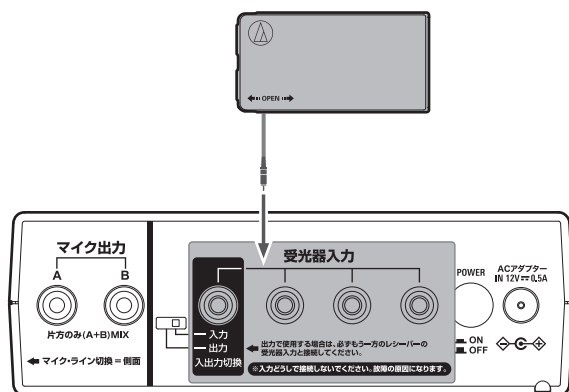
- 1 接続ケーブル(付属または別売)
- 2 カラオケ機器(コマンダー)

- 3 本製品の出力切換スイッチを切り換えます。
 - 接続機器のマイク入力ジャックに接続した場合はマイク側、ライン入力ジャックに接続した場合はライン側にしてください。
 - 工場出荷時は「マイク」に設定されています。



4 本製品の受光器入力ジャックへ受光ユニットから出ているケーブルを接続します。

- 受光器入力／出力共通ジャックに接続する場合、受光器入出力切換スイッチを「入力」に設定してください。詳しくは「受光器入力／出力共通ジャックについて」(p.20)を参照してください。



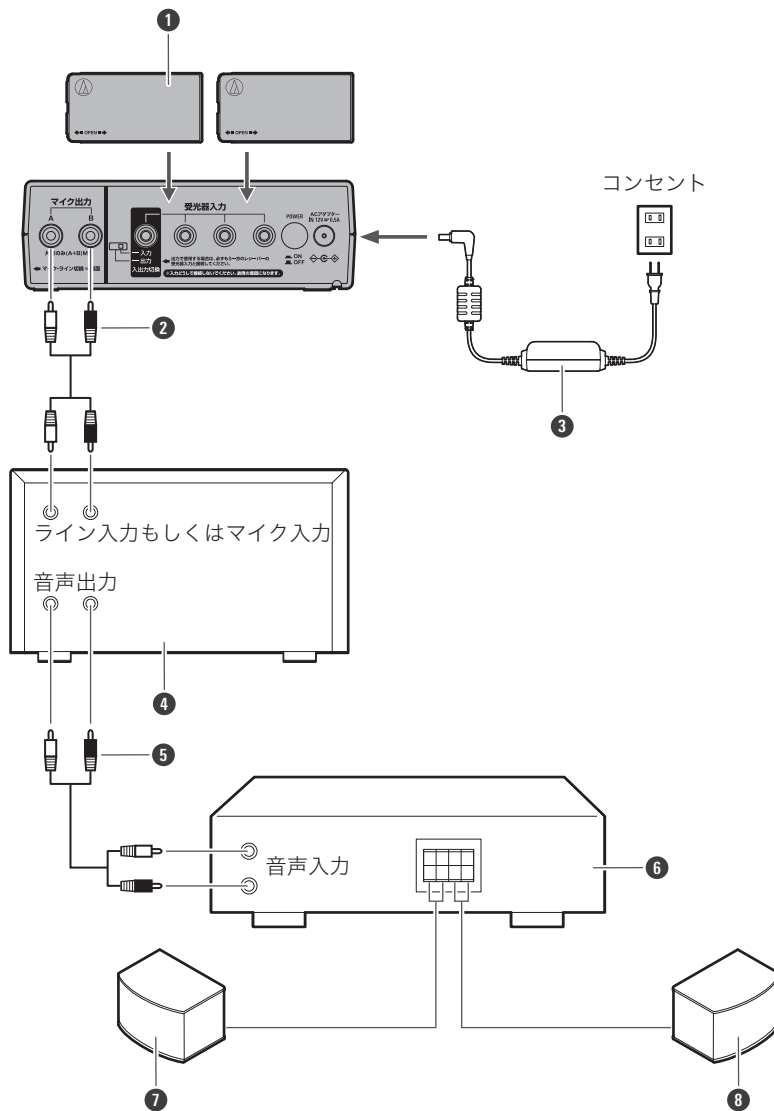
5 レシーバーをラックの上などに置きます。



- マイク出力ジャック、受光器出力ジャックと受光器入力ジャックの付け違いには充分ご注意ください。間違った接続をすると火災や故障の原因になります。(マイク出力ジャックは「白」、受光器出力ジャックと受光器入力ジャックは「黒」で区別されています。)
- 必ず当社が販売しているケーブルを使用してください。別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因となります。
- 受光器入出力切換スイッチを「出力」に設定した状態で、受光器入力／出力共通ジャックに受光ユニットを接続しないでください。故障の原因になります。

接続例

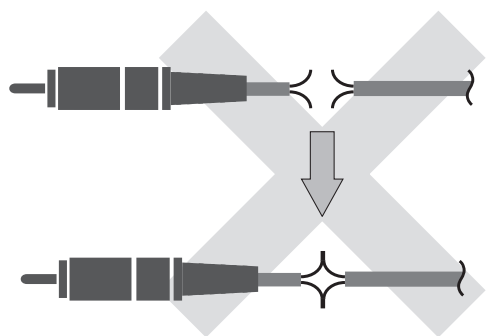
- 本製品に受光ユニットは1台付属しています。
- 受光ユニットは最大4台まで増設することが可能です(本製品の受光器入出力切換スイッチを「入力」に設定した場合)。「出力」に設定した場合、受光ユニットは3台まで接続することができます。



- ① 受光ユニット
- ② 接続ケーブル(付属または別売)
- ③ ACアダプター(付属)
- ④ カラオケ機器(コマンダー)
- ⑤ 音声ケーブル
- ⑥ パワーアンプ
- ⑦ スピーカー(R)
- ⑧ スピーカー(L)

ケーブルの配線について

壁内や天井内にケーブルを配線する場合、ケーブルを切断して再接続や継ぎ足し接続は行わないでください。ノイズ発生や受信不良の原因となります。切断後の再接続や継ぎ足し接続も行わないでください。

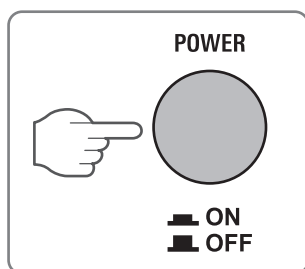


使い方

電源について

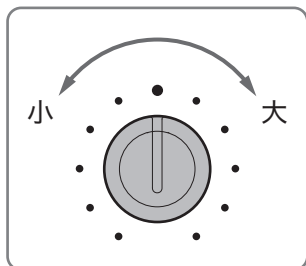
電源ボタンを押すと、電源のON / OFFが切り換わります。電源をONにすると、レシーバーの電源インジケータが赤点灯または緑点灯し、受光ユニットの電源インジケータが青点灯します。

- チャンネル切換スイッチが2MHzのときは赤点灯、3MHzのときは緑点灯します。
- マイク信号を受信すると、対応するチャンネルマイクインジケータが点灯します。



音量について

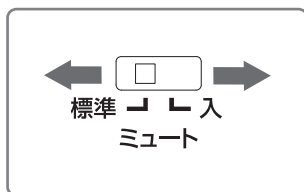
各チャンネルボリュームを回して音量を調整します。



ノイズミュート設定について

使用時に音の途切れノイズが気になる場合は、ノイズミュート切換スイッチを「入」にします。受信範囲は狭くなりますが、ノイズは少なくなります。

- 工場出荷時は「標準」に設定されています。



受信チャンネル、マイク出力について

チャンネル切換スイッチを切り換えることで、受信チャンネルとマイク出力の設定が切り換わります。

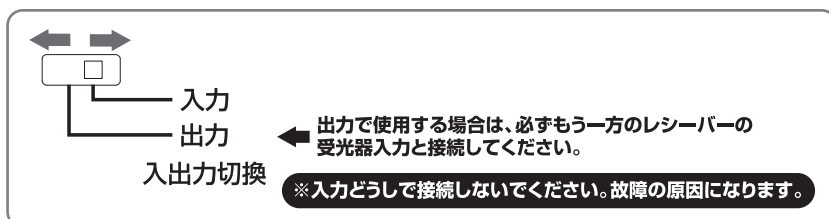
- 工場出荷時は「2MHz」に設定されています。
- マイク出力ジャックの一方だけにケーブルを接続すると、マイク出力Aとマイク出力Bのミックス出力となります。ミックス出力にしない場合は、両方のマイク出力ジャックにケーブルを接続してください。

チャンネル切換スイッチ	受信チャンネル	マイク出力	
		A	B
2MHz	1、2ch	1ch	2ch
3MHz	3、4ch	3ch	4ch

受光器入力／出力共通ジャックについて

受光器入出力切換スイッチを切り換えることで、受光器入力／出力共通ジャックを「入力」か「出力」に設定することができます。受光ユニットを接続して通常使用する場合は「入力」に、受光ユニットの共通使用を行うために別売の専用カスケードケーブルを接続する場合は「出力」に設定します。

- 工場出荷時は「入力」に設定されています。



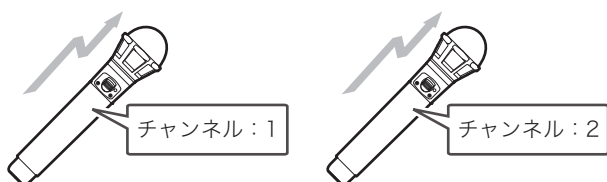
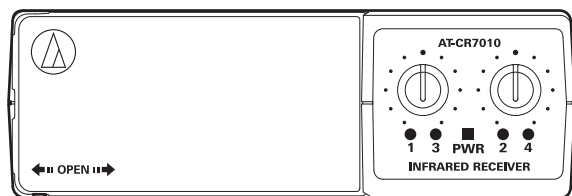
コードレスシステムについて

- マイクロホンを複数本同時に使用する際は、本製品のチャンネルに対応したマイクロホンを使用してください。
- 本製品を2台同時に使用することで、マイクロホン4本の同時使用が可能です。



- 本製品1台で赤外線コードレスマイクロホン2本の同時使用が可能です。
- 同じチャンネルのコードレスシステムを同時には使用できません。
- 受光ユニットとマイクロホンは1.5m以上離して使用してください。誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
- 周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離して使用してください。電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。

使用例

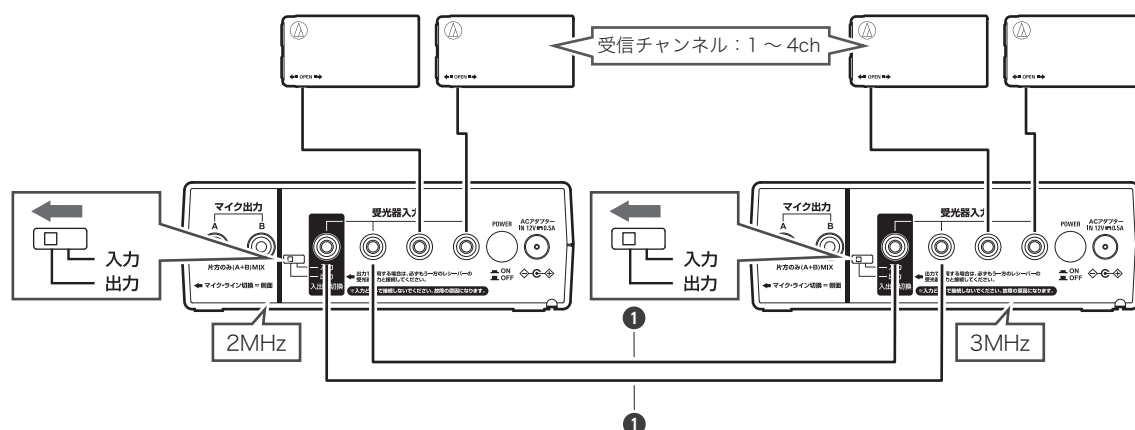


受光ユニットの共通使用について

本レシーバーを2台同時に使用することで、受光ユニットを最大4台まで共通で使用できます。受光ユニットを共通にすると、各々のレシーバーで設定したチャンネルが受信できます。使用の際は、一方のレシーバーの受光器出力ともう一方のレシーバーの受光器入力を別売の専用カスケードケーブルで接続します。

- 必ず別売の専用カスケードケーブル(RCAピンプラグ ⇄ RCAピンプラグ)を使用してください。別のカスケードケーブルを使用すると、受信感度の低下や雑音の原因になります。
- 共通使用できる受光ユニットは最大4台です。
- マイク出力は共通で使用できません。各々のレシーバーの出力になります。

コードレスシステムについて



① 専用カスケードケーブル(別売)



- 本製品と本製品以外のレシーバーを接続する場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。
- AT-SRX以外の受光ユニットを使用すると感度が落ちる場合があります。
- 必ず受光器入力／出力共通ジャックから受光器入力ジャックへ接続してください。間違った接続をすると、受信感度の低下や雑音、スピーカの破損の原因になります。
- 受光器入出力切換スイッチを「出力」に設定した状態で、受光器入力／出力共通ジャックと受光ユニットを接続しないでください。故障の原因になります。
- 受光器入出力切換スイッチを「入力」に設定した状態で、受光器入力／出力共通ジャックと受光器入力ジャックを接続しないでください。故障の原因になります。
- 別売の専用カスケードケーブル以外を使用すると、受信感度の低下や雑音、故障の原因になります。
- 別売の専用カスケードケーブルを他の用途に使用しないでください。

故障かな？と思ったら

② 電源が入らない

- ACアダプターが外れていないか確認してください。

② 音が出ない

- 出力切換スイッチは正しい出力に設定されているか確認してください。
- 接続した機器の音量を絞りすぎていないか確認してください。
- 受光器入力とマイク出力の配線が間違っていないか確認してください。

② 受信しない、音にノイズが乗る、音が途切れる

- 受光ユニットとマイクロホンの間に障害物がないか確認してください。
- 受光ユニットとマイクロホンの距離が離れすぎていないか確認してください。
- デジタル機器などのノイズ源となるものの近くに設置していないか確認してください。「使用上の注意」(p.3)を参照してください。
- ケーブル配線時に、ケーブルのプラグ付近で切断後、再接続や継ぎ足し接続をしていませんか？「接続のしかた」(p.15)を参照してください。
- 当社が販売しているケーブルを使用しているか確認してください。別のケーブルを使用すると、ノイズ発生や受信不良の原因となります。
- 受光ユニット内部の端子付近でケーブル同士が接触していたり、端子以外の部分に接触していないか確認してください。
- レシーバーを2台同時に使用し接続している場合、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。「受光ユニットの共通使用について」(p.21)を参照してください。

テクニカルデータ

チャンネル数	2チャンネル (2台使用時、最大4チャンネル)
受信周波数	1ch (2.06MHz)、2ch (2.56MHz)、3ch (3.20MHz)、4ch (3.70MHz)
出力レベル	マイク：-45dBV (VOL MAX時) ライン：-30dBV (VOL MAX時)
電源	DC12V 0.5A (付属のACアダプターを使用、日本国内専用)
消費電力	約4.0W (受光ユニット4台接続時)
動作温度範囲	0°C～40°C
保存温度範囲	-20°C～60°C
外形寸法	126mm×106mm×41mm (W×D×H)
質量	約250g
付属品	受光ユニット (AT-SRX、ケーブル長0.3m)、ACアダプター (AD-SL1205AO) 接続ケーブル (RCAピンプラグ (赤白)-RCAピンプラグ (赤白)、1.5m)

- 改良などのため予告なく変更することがあります。

